

八峰コミスク通信

平成30年度
第9号
H30/10/15
CSレター
工藤

八峰中「キャリア教育」活動

「キャリア教育」という言葉を知っていますか。「社会人・職業人として自立するために必要な能力、態度、意欲を引き出すための教育」等と解釈されます。具体的には、社会科見学、地域の職業調べ、インターシップ、オリジナル商品の開発などの例が挙げられます。



八峰中学校では「総合的な学習の時間」に、「キャリア教育」と「ふるさと教育」を取り入れた時間を組んでいます。1年生は「職場体験」、2年生は「秋田市での町の特産品PR」、3年生は「オリジナル商品の開発と販売」を行いました。

●1年生「職場体験」

10月2日は秋田職業能力開発短期大学において講話、見学、職業適性診断などを体験。翌3日は、町内にある役所、小学校、会社、温泉施設、協会、商店など14カ所で職場体験。さまざまな職業、職場における仕事の楽しさと大変さを若干でも体験しておいたことで、将来



の自分にアドバイスできますね。

●2年生「秋田市での町の特産品PR」

10月4日（木）秋田駅連絡道路の「ぼぼろーど」において午前10時30分から午後1時30分まで、町の特産品を販売しました。キバサ、ハタハタずしなどの水産加工品、峰浜梨、白神こだま酵母をつかったパン、グリーン豆腐、白神の塩など、生徒が事前に選定し、調査した特産品を出店。シニア層、特におばさま層は元気な生徒たちの呼び込みに感心して買求めてくださいました。ありがとうございます。



●3年生「オリジナル商品の開発と販売」

「起業家精神を学ぶ学習」の一環として、5チームで観光協会等の協力を得ながら、9月から商品の企画・開発を行ってきました。既存の会社と連携して完成したオリジナル商品を「んめものまつり」で販売しました。

2日間開催予定のイベントが悪天候のため10月6日のみの開催に。2日分の個数を1日で売り切らないといけない事態になりましたが、そこは元気な八峰中生たち。必死の呼び込みと商売上手な接客でみごと完売し、赤字は免れました。めでたし、めでたし。



3年生が知恵を出し合った5商品。峰浜梨を使ったお菓子・大福・パイ。サツマイモの団子、おからのクッキー。



峰小「ふるさと学習」活動

峰浜小のサシエ販売と石川ソバPR

4年生は、町の特産品をPRする学習の一環として、「んめものまつり」で、自分たちでラベンダー入りサシエを作り、販売しました。

最初は恥ずかしそうにしていましたが、だんだん慣れてきて、大きな声で元気よく呼び込みをする子どもたちが微笑ましかったです。売り込みのコツもつかんでみごと完売しました。

6年生はオリジナルの町のPRチラシを配ったり、峰浜地区の特産品「石川ソバ」への友情応援を頑張りました。

